博物館だより

彦根城博物館　☎ 22-6100・FAX 22-6520
URL http://longlife.city.hikone.shiga.jp/museum/

開館時間　8：30～17：00（入館は 16：30まで）

テーマ展

【開催中】～7月24日㈫
「華麗なる調度 －糟宮宜子愛用の品々－」

7月27日㈮～8月28日㈫
「戦陣の装い」

甲冑（かっちゅう）をはじめ、旗印や陣太鼓、采配（さいはい）など、戦においては様々な武器武具が用いられました。井伊家に伝来した軍装の数々を一挙公開します。

▶井伊直孝所用具足
◀黒塗北斗七星文陣太鼓

観覧料が必要です
ギャラリートーク
7月28日㈯　14：00～15：00
解説：彦根城博物館学芸員
※事前申し込みは不要です。当日、直接展示室１にお集まりください。

常設展示の名品

― 常設展示の名品―

常設展示「"ほんもの"との出会い」では、譜代大名筆頭・井伊家に伝来した名宝を中心に80点あまりを展示しています。

8月27日㈪まで展示中　**四季花鳥図**

御簾（みす）をはめ込んだ珍しい意匠の屏風（びょうぶ）。金地を背景に、鮮やかな色彩で30種以上の花と10種以上の鳥を描いています。

◀四季花鳥図（部分）

7月の休館日はありません。
※7月25日㈬と26日㈭は展示替えのため、展示室を一部閉室しています。

文化プラザだより

ひこね市文化プラザ☎26-8601・FAX26-8602

チケットのお申し込み、お問い合わせは
チケットセンター　☎27-5200（9:00～19:00）
インターネットでも購入いただけます。http://bunpla.jp/

★★★ 注目のイベント ★★★

8月24日㈮ 19:00～　エコーホール
ワールド・ミュージック・トリップ vol.7
多国籍バンド**「アレ・メッレル・バンド」**

ギリシャ、セネガル、スウェーデンのルーツミュージックが融合。多国籍の音楽家が放つ民族の音糸をスウェーデン伝統音楽の革命者「アレ・メッレル」が21世紀型ワールドミュージックとして紡ぎだす。スウェーデングラミーに輝いた「アレ・メッレル・バンド」が堂々登場！夏休み特別企画も実施します！

指定　一般3,900円　WMT会員3,300円
SP会員2,000円　【発売中】

「ジュニア歴史テナライ塾」

昨年夏に開催し好評を博した「ジュニア歴史テナライ塾」を１年間のシリーズ講座として開講します。興味のある講座を一つだけでも受講できますが、年間を通して受講すれば彦根の「歴史通」になれるかも!?（※詳しくはお問い合わせください）

７月　７日㈯　アプローチ講座Ⅱ「今につながる彦根の歴史」
７月29日㈰　戦国時代講座Ⅰ「なぜ、近江を制するの?」
８月　４日㈯　戦国時代講座Ⅱ「彦根の戦国武将・石田三成」
８月12日㈰　戦国時代講座Ⅲ「フィールドワーク（佐和山城登山）」
対象：小中学生とその保護者
自由　※各回300円（各回先着50人）【受付中】

携帯メール会員募集 !!
会員限定の特別価格情報などを配信（一部イベント）
※右のQRコードから登録してください。

7月以降の催し

7月12日㈭・26日㈭ 19：00～　メッセホール
ひこね市民大学講座　歴史手習塾seminar 12
「小和田&本郷の謎解き戦国塾」
Seminar 12-2《講義》なぜ幕府は滅び、朝廷は生き残ったのか
Seminar 12-3《パネルディスカッション》戦国史の謎を解く!
自由　1セミナー単券　一般1,200円　SP会員700円【発売中】

7月15日㈰　12：30～／17：00～　グランドホール
松竹大歌舞伎近松座公演　近松座三十周年記念
指定　一等席7,000円　二等席5,500円
三等席4,000円　SP会員2,000円　【発売中】

7月22日㈰ 14：00～　グランドホール
劇団わらび座「おもひでぽろぽろ」
指定　S席4,000円　A席3,500円
SP会員（S席のみ）2,500円　【発売中】

9月26日㈬　19：00～　グランドホール
鼓童ワン・アース・ツアー2012～伝説
指定　1階席4,500円　2階席3,500円　SP会員1,500円　【発売中】

最新チケット発売情報

9月22日㈯・祝　16：00～　グランドホール
OEK♪ひこね　Cool Japan Concert episode.6
「これが井上道義の交響楽だ!2012 ― 井上道義 & OEK」
【演奏予定曲】
シューベルト:交響曲第7番（旧8番）　ロ短調D.759「未完成」
ベートーヴェン:交響曲第6番　ヘ長調Op.68「田園」　ほか
指定　S席5,300円　A席4,800円　学生席2,000円
OEK会員S席4,500円　A席4,000円　【7月7日㈯発売】

※SP会員…スチューデント・パスポート会員（登録無料の学生会員）
※WMT会員…ワールド・ミュージック・トリップ会員
※OEK会員…OEK♪ひこねサポーターズ会員

7月の休館日　2日㈪、9日㈪、17日㈫、23日㈪、30日㈪

ときの至手箱

～博物館からのメッセージ～

第191回

婚礼調度にみる蒔絵の技

江戸時代、大名家では、婚礼に際して、貝桶や三棚、化粧道具、膳椀類などからなる大揃えの婚礼調度が調えられました。これらの制作が盛んに行われるようになるのは、江戸時代の初頭あたりと考えられています。寛永年間（1624～44）には、その品目や形態が整って、大名婚礼調度の形式が完成しました。

▲ 叢梨子地花菱唐草菊三ッ横菊紋眉作箱（むらなしじはなびしからくさきくみつよこぎくもんまゆつくりばこ）

現存する婚礼調度のなかでも、最高傑作と謳われるのが、寛永16年（1639）、3代将軍徳川家光の長女千代姫が、尾張徳川家2代光友に嫁した際に調えられた「初音の調度」です。高度な蒔絵の技法が駆使され、江戸時代の蒔絵の頂点を示す作品です。これを筆頭に、華麗な婚礼調度の数々が生み出されました。

明治2年（1869）、井伊家14代直憲が、有栖川宮家の王女糟宮宜子を正室に迎えた際にも、江戸時代の婚礼調度の伝統にならい、大揃えの調度が調えられました。写真の作品はその一つで、化粧道具とそれを収める眉作箱です。箱そのものはもちろんのこと、中に収められた眉作筆や櫛、鏡、白粉を入れる合子の一つ一つにまで、有栖川宮家の家紋である三ッ横菊紋と菊紋が、花菱繋と唐草の模様と共に金蒔絵で表されています。

この眉作箱には、梨子地に薄肉高蒔絵と呼ばれる技法が施されています。梨子地は、平らに薄く延ばした金銀の粉を蒔き、上から透明度の高い漆をかけたもので、梨の実の肌に似ているためにこの名があります。高蒔絵とは、炭の細かい粉などを漆と混ぜ合わせて盛り、模様に立体的な肉付けをした後に、金粉を蒔き付けて仕上げる技法です。高蒔絵の中でも、薄い盛上げにしたものが、薄肉高蒔絵です。

蒔絵の技法には、研出蒔絵や貝などを嵌め込む螺鈿など色々ありますが、それらと比較すると、高蒔絵は簡便な技法です。例えば、研出蒔絵は、金粉を蒔いてから黒漆を塗って覆い、その黒漆の層を研いで下の金を露出させて模様を表現するという複雑な工程を経ますが、高蒔絵では研ぎ出しを行いません。研出蒔絵で作りされるような堅牢な質感の魅力は乏しいものの、漆面に直接筆で絵を描いたかのような軽やかで勢いのある描線や、盛上げによる肉厚な表現は、高蒔絵ならではの魅力と言えるでしょう。

冒頭に挙げた初音の調度に駆使された蒔絵の技法は、研出蒔絵をはじめとする十数種です。それに対し、宜子の婚礼調度は、梨子地に高蒔絵のみで仕上げられており、技法面ではかなり簡略化されています。しかし、だからといって、大幅に見劣りがするというわけではありません。地に埋められた金粉の輝きと、リズミカルに配された模様の金色が賑やかに響き合って、非常に華やかな印象を与えます。

このように、準備にかける時間や経費の縮小を図ったとしても、技法の持つ特質をうまく生かすことで、魅力あるデザインを作り出すことができます。技法から作品を読み解いてみると、さまざまな知恵や工夫が凝らされていることに気付き、作品の理解が一段と深まると言えるでしょう。

（彦根城博物館学芸員　奥田晶子）

写真の作品は、テーマ展「華麗なる調度―糟宮宜子愛用の品々―」で6月22日㈮～7月24日㈫の期間、展示します。（期間中無休）